

安全方針

当社は、東京～父島間の定期航路を担う運輸事業者として、「安全で信頼感のある良質な海上輸送サービス」を通して社会に貢献することを、経営の基本理念としております。

この基本理念に則り、安全確保は最大のサービスとの基本意識に立ち、関係法令を遵守し、「安全最優先」の徹底に全社を挙げて取り組みます。 2020年7月1日

小笠原海運株式会社

代表取締役社長

小笠原 裕喜

2020年度安全重点施策

I. 船舶の安全運航への取り組み

- 1) 安全管理規程及び関連法令を遵守し、災害に備えた訓練、教育を実施する
- 2) 船体、機関、諸設備及び諸装置等の保守点検整備作業を実施する

II. 旅客に係る事故ゼロを達成する

- 1) 気象、海象等の情報を収集・変化を予測し、注意喚起、危険箇所の早期閉鎖により船内受傷事故を防止する
- 2) 出港前の船内点検、出港後の船内巡視・防犯カメラにより犯罪抑止とトラブル解決に繋げる

III. 貨物に係る事故ゼロを達成する

- 1) 作業時における保護具の着用を徹底し、基本動作及び作業手順を遵守する
- 2) 慣れによる思い込み・油断での事故を防止する

IV. ヒヤリハット情報の収集・分析を継続的かつ広範囲に実施し活用を図る

- 1) 定期的な訪船、乗船を通じて船陸の相互理解を深め、情報収集力を活性化する
- 2) 船内、ターミナル、荷役中に発生したヒヤリハット情報を全社員で共有して再発防止を図る